北次（きたつぎ）株式会社

小ロット注文に対応、布雑貨新製品づくりに貢献

納期相談
コスト相談
メイドインジャパン
試作可小ロット
量産対応

ヒット商品を生み出す縫製技術

業務内容

一貫生産が可能な縫製工場

バッグやエプロンなど布雑貨専業の縫製工場。特定の顧客から量産品の縫製を請け負うのではなく、さまざまな顧客から小ロット（50-100個）のサンプル作成をまず手がけ、その後の量産受注に移行するパターンが多い。量産品縫製が海外にシフトし、小ロット対応が可能な国内縫製工場が減少する中、材料仕入れからサンプル作成、仕上げ、検品まで一貫して行えることで、存在感を増している。品質向上や効率化のため、プログラムミシンや自動裁断機、検針機などを導入する一方、人手による縫製技術向上にも取り組む。

強み

生産管理活動の徹底で、小ロット注文に対応

新製品のサンプル作成に対応できることが最大の強み。多くの縫製工場は分業制で量産品の一部工程のみにかかわっていることが多いが、社内に開発から生産、仕上げの各部門を持つため、顧客は新製品開発から量産までをスムーズに進められる利点がある。毎回のように新しいサンプルを作成することにはリスクがあるが、困難なものづくりに挑戦を繰り返してきたことでノウハウを蓄積した。一方で5S（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）活動の推進などで生産管理を徹底し、小ロット品の製作でも利益を生み出せる体制を作り上げている。

自社商品

オリジナル商品拡大でOEM受注の波を埋める

顧客の注文に応じるOEM（相手先ブランド生産）事業を拡大する一方、20年以上前から自社ブランドのオリジナル製品開発にも取り組む。企画部を独立させ他社にないニッチ分野の商品を開発している。これまでも通園グッズや機能性の高いエプロンシリーズなど多くのヒット商品を生み出し、東急ハンズなど量販店での販売やホームページを通じた直接販売で売り上げを拡大している。売上高に占めるオリジナル製品の割合は現在約10％だが、北次孝得（きたつぎたかのり）社長は「OEMの受注の波を埋められるようにしたい」と30％程度への伸長を目指している。

自社オリジナル製品の入園グッズ

今後の展望

実力を高め、事業の土台広げる

海外シフトが続いていた縫製も、最近は再び品質の高さが評価され国内回帰現象も起きている。ただ北次社長は「ブームはいつまでも続くわけではない」と警戒し、自社の実力を高めることに集中している。生産管理活動を展開し、縫製では不良率を下げる、裁断の稼働率を上げるなど、各工程でそれぞれ設定した目標に向かって改善を進める。従業員各人も、担当外の工程や、これまで扱っていなかった皮革材料の縫製など新たな技能や技術習得に挑んでいる。商品開発も医療・介護や健康など新分野を開拓し、これまでに築いた土台をさらに広げていく。

COMPANY PROFILE　北次（きたつぎ）株式会社

大阪27

当社の歴史

初代社長の北次長四郎が勤めていた工場での知識を生かし、縫製工場を創業しました。寝具関連の生産で成長、昭和40年代からの繊維製造の海外シフトに小ロット、短納期の布雑貨縫製で対応しています。小ロット対応力に磨きをかける一方、新設備導入、技術継承にも力を入れています。

小ロットから製作できる雑貨専業の縫製工場です。
布関連でお困りのことがあればご相談ください。

代表取締役 北次（きたつぎ） 孝得（たかのり）さん

■主な事業内容
布製品の製造・販売

■主な取引先（納入先）
寝具関連メーカー、
下着メーカーなど

住　所／〒571-0033
門真市一番町15-7
ＴＥＬ／06-6908-1594
ＦＡＸ／06-6906-6943
創　業／昭和25年
設　立／昭和54年5月
資本金／1,000万円
従業員／35名

http://www.nunomonokobo.co.jp/